

# ○ 佐藤文子 (20分)

【一括方式】

## 1 がん支援体制整備（アピアランスケア）について

2017年、がん対策基本計画が改定され、次の10年間の具体的なビジョンが示された。

基本計画の柱は、「がん予防」、「がん医療の充実」、「がんとの共生」の三つである。特に「がんとの共生」の視点から本市の取組、課題を伺う。

## 2 ままんち させぼ（産後ケア事業）について

「ままんち させぼ」が開設され約3年経過した。産科と連携した産後ケアの実施や、子育て支援に注力されている。子ども保健課のアンケートでは、総じて満足という評価であったとのことであるが、事業内容の認知度や、利便性の面では改善の余地ありとの見解を出されている。

この事業をより充実させるための、今後の展開、課題について伺う。

○ 山 口 裕 二 (15分)

【一問一答方式 (1回目から)】

- 1 指定管理者制度について
  - 指定管理の現状について
  - 今後の取組について

# ○ 久野 秀 敏 (15分)

【一括方式】

## 1 公園の在り方について

平成14年6月に策定された「緑の基本計画」も令和3年度には見直しの時期を迎えようとしています。また、平成29年6月に都市緑地法の一部が改正され、都市公園の特性に応じた管理の方法や公園施設の老朽化対策の方針、官民連携や機能再編について「緑の基本計画」に記載することが望ましいとされております。現在は、公園施設の長寿命化計画に基づき、老朽化対策など緊急性の高い施設から順次施設の更新が行われておりますが、公園を必要とされる自治会からの要望については、「新設は財政上難しく、市街化区域の未整備地区においても必要性について検討している状況である」と聞き及んでおります。

- 公園の現状について
- 公園の新設や統廃合に対する考え方について

## 2 町内会支援制度について

- 町内、自治会集会所等施設整備補助制度の拡充について
- LED防犯灯の取替えに対する補助制度について

## 3 防災行政について

- 近年、大雨の発生頻度が増加し、集中豪雨による災害が全国的に頻発化、激甚化している中で、本市においても、大規模な災害がいつ発生してもおかしくない時代になってきております。

大規模化する災害に備えるための防災減災対策について、市民への情報伝達や河川における対策など本市の取組について伺います。

# ○ 大 村 哲 史 (20分)

【一問一答方式 (1回目から)】

## 1 都市計画道路の在り方について

- 都市計画道路の設定と考え方について
- 農用地内の都市計画道路について
- 都市計画道路の今後のスケジュールについて (改廃)

# ○ 北野正徳 (30分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 学力向上と学期制変更について問う。

2 学期制を3学期制に戻すことの大きな理由に「確かな学力の育成」への懸念が示されているが、学期制と学力の相関関係や学力の評価と指導の仕組み、また、これまでの2学期制を自己評価し、その成果とされたことに対する今後の懸念について問うものである。

2 国土強靱化と治山治水について問う。

本市においても国土強靱化計画の策定が進められているが、治山治水政策としての治山ダム、砂防ダム、河川堰の現状と課題、人工林と自然林の育成管理について問うものである。

3 平成の大合併の成果について問う。

平成の大合併の開始から15年程度が経過し、第7次総合計画においては「合併地域」という表記がなくなり、合併算定替も令和2年度で終了する中、平成の大合併をどのように総括するのかを問うものである。

# ○ 永 安 健 次 (25分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 水道事業の統合計画について

水道事業の統合については、簡易水道区域の統合に一定の進捗が見られる一方、北部エリアの水道事業については今なお独立した形での事業運営が行われています。

一部地域によっては不安定な水源のため、水不足の不安を抱えながらの生活を余儀なくされており、公平な給水サービスの確保が担保されていないのが現状です。

そこで、本市水道事業の統合計画の現状をお伺いするとともに、水道事業の地域格差解消に向けた取組について質問をします。

## 2 子どもたちの遊び場環境について

以前は、遊具や砂場で遊ぶ子どもたちの風景がよく見られていましたが、最近では遊び方が変化したのか、環境が変わったのか、様子が変わってきたように感じます。一方、保護者の方の声を聞けば、子どもたちが遊べる場所がないなどの声を聞くことも度々あります。

そこで、子どもたちが自由に遊べる公園の整備状況と管理方法についてお伺いします。

あわせて、学校等の運動場の遊び場としての開放状況についてもお伺いします。

### 3 ウェストテクノ佐世保周辺の道路環境の改善について

佐世保工業団地「ウェストテクノ佐世保」周辺の道路環境は、佐々川右岸の県道拡幅工事が完了し、車両の流れにも若干の変化が見られるようになったところですが、朝夕の交通量は今なお増加傾向にあります。近隣では交通量の増加に伴って、交通事故や住民とのトラブル、苦情等も増加しています。

また、当該箇所は一本の県道のみ依存している交通環境で、事故の規模によっては交通が完全に遮断される脆弱な環境にあります。実際、最近起きた交通事故では、車両の交通規制が行われ、渋滞も発生し、通勤、通学に大きな影響が出たと聞いています。さらに、工業団地内の企業においても生産活動の始業開始に支障を来した状況も発生しています。

そこで、工業団地周辺の道路環境について、現状把握と改善策についてお伺いするとともに、抜本的な産業道路確保の必要性について質問します。